令和３年度予算重点施策

令和3年2月4日

荒　川　区

令和3年度予算重点施策

事　　項		予算額
区民の命と安全・安心を守る取組		
1	新型コロナウイルス感染症対策	13億6，465万円
	新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高い医療・介護事業所への支援をはじめとした、感染症対策を実施する。	
2	災害時の被害軽減に向けた施設整備	2億240万円
	災害時における区民の安全・安心を確保するため、防災スポットの整備など、災害対策の充実・強化を図る。	
3	災害対策の充実・強化	3億1，803万円
	災害発生時の情報伝達手段の充実や避難所における物資・資機材の拡充を行い、災害への対応体制を充実・強化する。	
子どもや子育て家庭への支援		
4	待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大	7億3，001万円
	認可保育園のさらなる整備により保育定員の拡大を図るとともに、保育の質の向上を図りながら、待機児童の解消に向けた取組を継続する。	
5	児童養護施設の整備	1億5，310万円
	様々な理由により親と一緒に暮らすことのできない子どもたちを養育するとともに、里親支援の充実やショートステイ事業の実施など、社会的養護と地域の子育て支援の取組を推進するため、児童養護施設を整備する。	
地域コミュニティの充実		
6	ふれあい館の整備	16億2，753万円
	乳幼児から高齢者まで幅広い世代が活動、交流できる地域コミュニティ施設「ふれあい館」を、新たに2館（東尾久本町通りふれあい館、ひぐらしふれあい館）整備する（工事期間：令和2～3年度、開設予定：令和4年度）。	
7	町屋文化センターのリニューアル改修工事	1億7，833万円
	町屋文化センターを『明るく、楽しく、何度でも』気軽に行ける施設として、多彩なイベントや子どもも大人も楽しめる施設へとリニューアルする。（工事開始時期：令和3年度後半）	

令和3年度予算重点施策

事　　項		予 算 額
にぎわいあふれるまちづくり		
8	わくわくがいっぱい！荒川遊園リニューアル	18億5，067万円
	都内唯一の公営遊園地であり、親子連れの方々から人気の荒川遊園を、子どもにとっても大人にとってもさらに利用しやすく魅力的な施設へとリニューアルする。	
9	魅力たっぷり！宮前公園の整備	7億8，872万円
	バラのアーチ等を活用した立体感のあるガーデンエリアやスイレン池、 図書館、テニスコートなどを備え、多様な楽しみ方を提供する。 また、災害時は、避難場所や避難路として利用すると共に、延焼遮断帯として機能させる。	
10	新たな日常によるにぎわいの創出	2，004万円
	新型コロナウイルス感染症に対応した新たな方式によるイベント実施や、回遊性を高めるツールを提供し、地域経済の活性化を図る。	
11	「あらかわ街なか美術館」の整備	280万円
	区内全域を美術館に見立て「あらかわ街なか美術館」として彫刻作品等を展示し、作品への二次元バーコード整備によりホームページと連動した作品・作者紹介を行い、コロナ禍であっても、荒川区の芸術文化の魅力を強く発信する。	
12	オリンピック・パラリンピック関連事業	7，147万円
	世界に復活・復興を示す東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、開催への気運を高める事業や区民が参加できる大会に関連した事業を展開する。	

新型コロナウイルス感染症対策

予算額 １３億６，４６５万円

【ＰＲポイント】

○ 新型コロナウイルス感染症から区民の生命と健康を守るため、関係医療機関と連携し、万全の対応を行います

○ 新型コロナウイルス感染症により、必要な介護が受けられなくなった要介護者等とその家族等のための支援体制を確保します

○区民の相談等にきめ細かく対応し、不安を軽減するため、引き続きコールセンターの医療スタッフを充実させるなど、相談体制の強化を図ります。

○発熱等の症状がみられる方が適切に診療検査を受けられるとともに、濃厚接触者や行政検査が必要な方にＰＣＲ検査が実施できるよう、民間検査機関の活用等も含めた迅速かつ十分な検査体制を確保します。

○入院治療を必要とする陽性患者が確実に病院に受け入れられるよう、関係医療機関と連携して区民のための病床を確保するとともに、地域医療体制の維持を図るため、発熱患者等に対応する医療機関に対する補助を継続します。

○希望する区民が適切にワクチン接種ができるよう、医療機関のみならず地域で集団接種を実施できる体制を確保するほか、介護入所施設等では施設内での接種を実施するなど、万全なワクチン接種体制を整備します。

○在宅の高齢者や障がい者を介護する家族等が、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に安心して療養等に専念できるよう、その濃厚接触者となった要介護者が緊急一時的に入所できる施設を確保するほか、在宅介護を希望される場合には、介護・看護事業所職員を派遣する体制を引き続き確保します。

【問合せ先】　健康部　生活衛生課長　大森　重紀　内線４３７

災害時の被害軽減に向けた施設整備

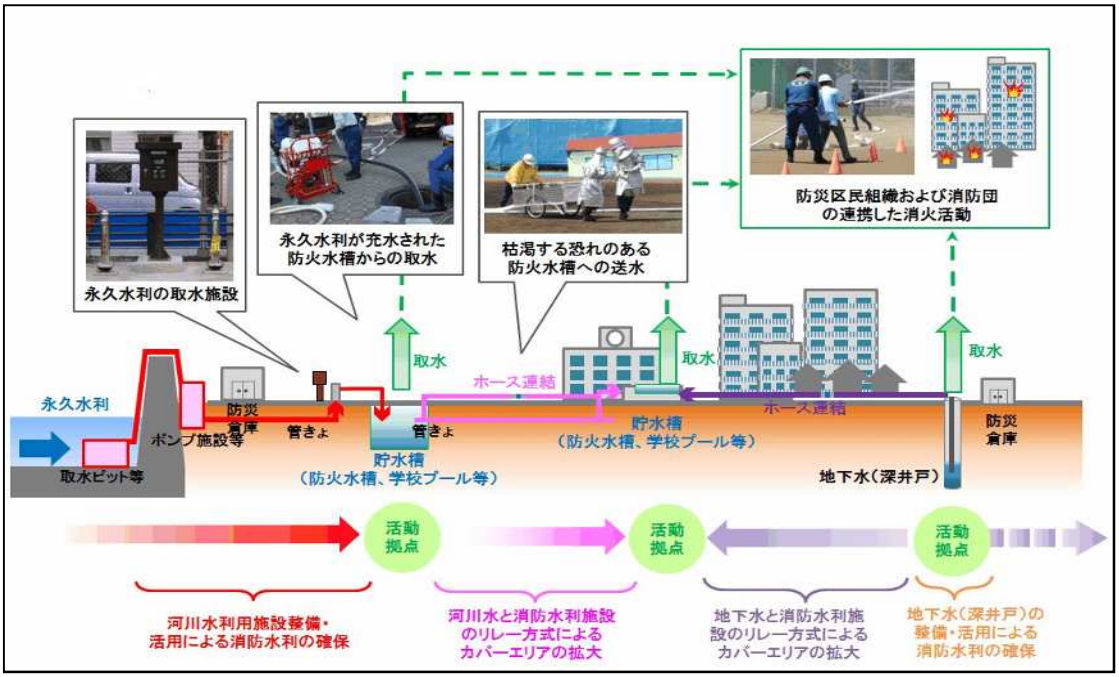
予算額　　２億２４０万円

【ＰＲポイント】

○ 大規模震災時でも枯渇しない消火用水を確保します
（永久水利）　ー　第四峡田小学校

○ 災害時の地域防災活動を支援する広場を整備します
（防災スポット）　ー　町屋三丁目睦・東尾久一丁目西

ー　永久水利の活用イメージ図　ー



○ 震災時にも枯渇することのない水源を消火用水として活用するため、平成２５年度から永久水利の施設整備を進めており、現在、河川水利用施設が４箇所、地下水利用施設が３箇所となっています。
令和３年度は第四峡田小学校に、毎分２トンの取水が可能な地下水利用施設を整備します。

○ 密集市街地内の小規模なオープンスペースを活用し整備を進めている防災スポットは、現在施工中も含め１４箇所となります。
令和３年度は２箇所の整備を予定しており、地域内の初期消火及び救助活動を促進するとともに、日常の憩いの場を提供することで、地域の安全性と住環境の向上に取り組みます。

【問合せ先】　防災都市づくり部　防災特区・水利担当課長　能見　和哉　内線２８５０

災害対策の充実・強化

予算額　３億１，８０３万円

【ＰＲポイント】

○ 災害時の緊急情報等を音声・文字により区民へリアルタイムで配信できる手段を充実・強化することで、災害時における区民の情報収集を支援します

○ ソーラー充電が可能な蓄電池や乳児用液体ミルク、携帯トイレ等、避難所の資機材や物資の充実・強化を図ります

災害発生時の情報伝達手段の充実や避難所における資機材・物資の拡充を行い、災害への対応体制を充実・強化します。

１　災害情報伝達手段の充実・強化

災害時情報伝達システムを構築することにより、災害発生時における情報伝達手段の充実・強化を図ります。

・「荒川区防災アプリ」をリニューアルし、防災行政無線と連動した音声・文字による避難勧告等の緊急情報の配信、また発令区域・被害情報・避難所開設状況の地図表示等の機能追加を行うとともに、情報収集にハンディキャップのある障がい者等向けの情報伝達機器を選定の上、配付事業を検討・実施していきます。

・３ヵ年計画で整備を進めている防災行政無線のデジタル化を完了させることにより、緊急情報の各種受信機器への一斉配信等を可能とし、情報伝達機能の充実・強化を図ります。

２　避難所における資機材・物資の拡充

ソーラーパネルの搭載により太陽光での充電が可能な蓄電池を避難所に配備し、既に配備済みの発電機等と併せて活用することで、長期間の停電時にも対応できる体制を整備します。

また、ライフライン途絶時にも乳児に迅速な授乳ができるよう、調乳が不要で災害時に有効な乳児用液体ミルクを備蓄するとともに、水洗トイレが機能しない場合でも利用が可能な携帯トイレの備蓄の充実を図ります。

【問合せ先】　区民生活部　防災課長　森田　修康　内線４９２

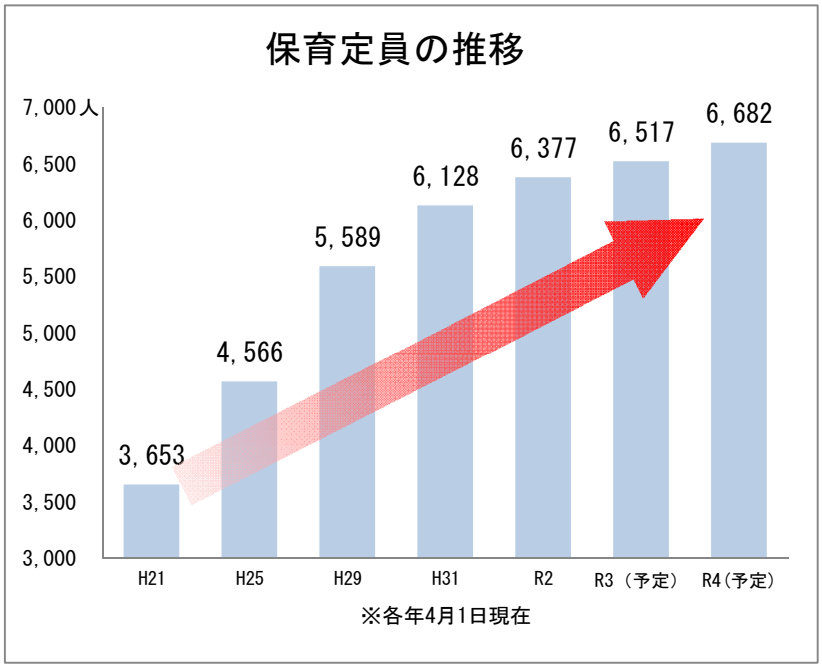
待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大

予算額　７億３，００１万円

【ＰＲポイント】

○ 新たな保育園を令和３年４月に２園、４年度までに３園開設するなど、３００人超の定員拡大

○ 区有地、賃貸物件の活用など、多様な手法で新たな保育園を整備



保育利用率
59.7%
23区中1位
23区平均51.1%
（東京都の集計資料による）

子育て世代が増えている中で、保育定員の拡大を積極的に図り、保育利用率はこの５年間で約１０ポイント上昇しています。

区では保育需要に対応するため、多様な手法を用いた新たな保育所の整備により、この１１年間で2,７００人を超える保育定員を拡大しました。

今後も、保育の質の向上を図りながら、保育需要の増加が見込まれる地域に対し、区有地、賃貸物件等を活用した保育所整備や新規開設園の空きスペースを活用した定期利用保育の実施により、**令和４年４月までに３００人超の保育定員の拡大**を予定しています。

こうした取組を進めながら、待機児童の解消につなげます。

【問合せ先】　子ども家庭部　保育調整担当課長　野村　文和　内線３８２０

児童養護施設の整備

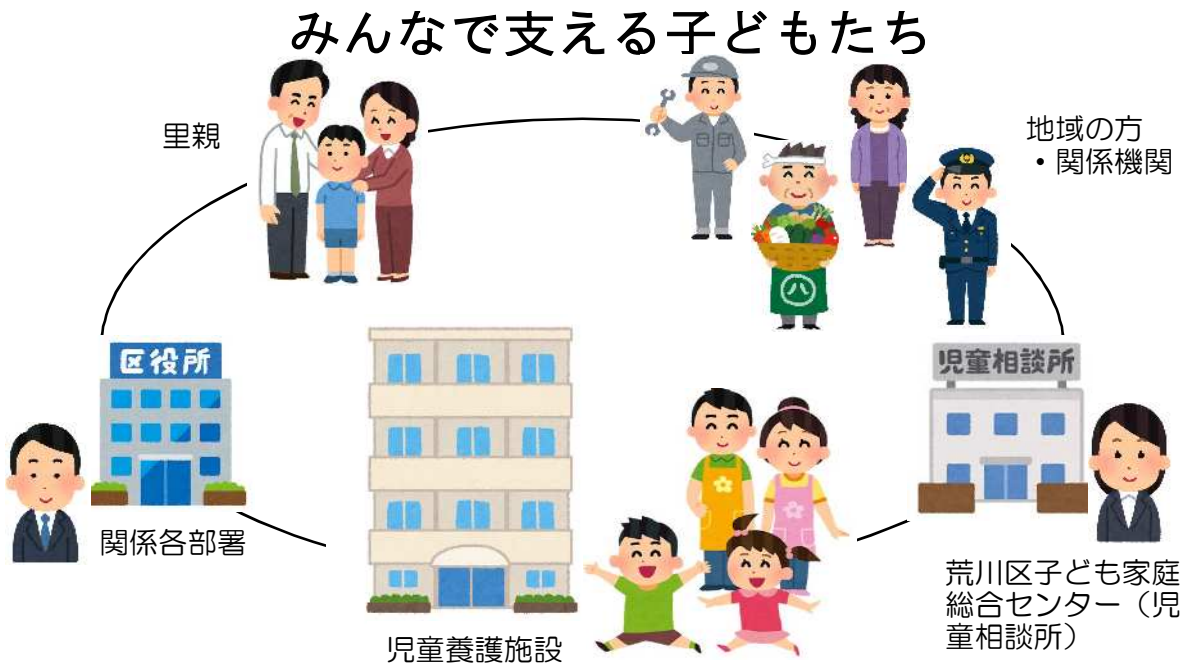
予算額　１億５，３１０万円

【ＰＲポイント】

○ 令和５年度の開設に向けて、区有地に児童養護施設を誘致

○ 区児童相談所と連携し、里親支援の充実とあわせて社会的養護の体制を構築

○ ショートステイ事業を実施し、地域の子育て支援の拠点としての取組も推進



令和５年度の開設に向けて、荒川八丁目の区有地に児童養護施設を誘致し、整備を行います。

子ども家庭総合センター（児童相談所）の設置に続き、児童養護施設を整備し、里親への支援を充実することと併せて社会的養護体制の充実を図ります。

当該施設では、地域の子育て支援の拠点として、親の病気や育児疲れがある時などに利用できるショートステイ事業を実施します。

【問合せ先】　子ども家庭部　子育て支援課長　谷井　千絵　内線３８１１

ふれあい館の整備

予算額 １６億２，７５３万円

【ＰＲポイント】

○ 荒川区では、乳幼児から高齢者まで幅広い世代が活動、交流できる地域コミュニティ施設「ふれあい館」を整備しています
○ 施設内には、ミニ備蓄倉庫を設置するなど、災害時には地域の高齢者や配慮を要する方々の二次避難所として機能します
○ 令和４年度に東尾久及び日暮里地域に新たに２館を開設するため、令和２年度に引き続き建設工事を行います

区では、平成１６年度から、区民の新たなニーズに対応すると共に、災害時には二次避難所となるふれあい館の整備を進めています。

○ ふれあい館には、乳幼児用スペース、音楽室、多目的室等があり、文化活動からスポーツ活動まで、幅広い活動の場を提供する他、ミニ備蓄倉庫を設置し、災害時の二次避難所として安全・安心を確保します。
○ ふれあい館の運営は、これまで同様、指定管理者制度による民間活力を導入し、乳幼児から高齢者まであらゆる世代を対象にした事業を展開していきます。
○ 令和４年度に新たに２館が開設することで、ふれあい館は合計１５館となり、多くの区民が身近なふれあい館で活動、交流することができます。

※ 令和４年度開設予定（工事期間：令和２年度～３年度）
・東尾久本町通りふれあい館（東尾久２－３７）
・ひぐらしふれあい館（東日暮里６－２８）

東尾久本町通りふれあい館イメージ図

ひぐらしふれあい館イメージ図

【問合せ先】 区民生活部 区民施設課長 遠藤 伸記 内線２５３０

町屋文化センターのリニューアル改修工事

予算額　１億７，８３３万円

【ＰＲポイント】

○ 令和３年度後半から町屋文化センターを順次リニューアルします

○ 『明るく、楽しく、何度でも』気軽に行ける施設として、多彩なイベントや子どもも大人も楽しめる機能を追加し、バージョンアップします

～主な新機能～
① 床面プロジェクションで遊べるコーナー
② 自由にお絵描きできる黒板の壁
③ 美術品になれるフォトスポット

【リニューアル後の２階のイメージ図】

・令和３年度後半から工事を開始し、順次、改修完了箇所から使用可能となります。新しくなる町屋文化センターにぜひご期待ください。

【問合せ先】　地域文化スポーツ部　生涯学習課長　漆畑　研太　内線３３５０

わくわくがいっぱい！荒川遊園リニューアル

予算額 １８億５，０６７万円

【ＰＲポイント】

○ 大型遊具を一新、新規アトラクションも導入

○ ベビールームを完備、授乳室やオムツ替えスペースを増設

○ 令和４年春オープン予定

都内唯一の公営遊園地であり、親子連れの方々から人気の荒川遊園を、子どもにとっても大人にとってもさらに利用しやすく魅力的な施設へとリニューアルします。

４０ｍの観覧車や新機種ウォーターシューティングライドを導入！

スケルトンゴンドラを備える４０ｍ観覧車／楽しく対戦、新機種ウォーターシューティングライド／馬だけじゃない！？メリーゴーランド／豆汽車・スカイサイクルも更新／室内遊び場やトランポリン状エア遊具を新たに整備

小さなお子様もおでかけ安心！

園内の建物にベビールームを合計４室整備、授乳室やオムツ替えスペースはもちろん、粉ミルク用給湯器や電子レンジ、オムツを密閉して衛生的に処理できる専用ダストボックスも設置！

新たな発見、子どもも大人も大満足！

園内に飲食スペースを３施設展開し、都電「一球さん号」はオシャレなカフェスペースに！
リニューアルオープン後は観覧車のライトアップやイルミネーションにより夜間の雰囲気を演出、新たな荒川遊園と出会えます。

新たな飲食スペースのひとつ
「もぐもぐハウス」の外観イメージ

新機種「ウォーターシューティングライド」

【問合せ先】　子ども家庭部　荒川遊園課長　野口　正紀　　内線　４６９

魅力たっぷり！宮前公園の整備

予算額　７億８，８７２万円

【ＰＲポイント】

○ 尾久地区・隅田川沿いに２．５ｈａの公園が誕生
バラのアーチ等を活用した立体感のあるガーデンエリアやスイレン池、図書館、テニスコートなどを備え、多様な楽しみ方を提供します。

○ 隅田川と都電通りを結ぶ防災公園
災害時には、避難場所や避難路、そして延焼遮断帯として機能します。

楽しみ方・遊び方・使い方色々

- ❏公園内の図書館は、区民の新たな交流の機会をつくります。
- ❏プロのガーデナー監修によるローズガーデンや季節の花々を楽しめるメドーガーデンなど、特色ある庭園でくつろげます。
- ❏複合遊具や長いローラーすべり台で思いっきり遊べます。
- ❏広い芝生広場やテニスコートで存分に身体を動かせます。
- ❏水辺テラスに直結し、親水性に富んだ潤いのある環境をつくります。
- ❏緑に囲まれた保育園で、心豊かな子どもたちを育てます。
- ❏災害時の避難場所、防火水槽や災害時利用できるトイレを整備し、区民の命を守ります。

【問合せ先】　防災都市づくり部　道路公園課長　諸角　明彦　内線２７３０

新たな日常によるにぎわいの創出

予算額　　２，００４万円

【ＰＲポイント】

○ 新しい日常に適した方式へのイベントの見直しや、新しい取組により、にぎわいを創出します

○ 新型コロナウイルスの終息を見据え、区の魅力発信やまちあるきを楽しむ機会を提供します

感染拡大を防止するため、新しい日常に適した方式によるイベント実施やまちを楽しく周遊する機会を提供します。

区内最大のイベントをオンラインで開催！

川の手荒川まつりを特設サイトにて開催します。
特設サイトでは、川の手荒川まつりで人気イベントのゲームや区民団体によるステージ発表を配信します！
また、交流都市の特産品が購入できるサイトもご紹介します。

まちなかで宝探し！バーチャル版の同時配信は23区初！

３密を避けた非集合型の地域散策イベントを開催します。
区内を舞台にした宝の地図に示された謎を解きながら、地域の文化や歴史を楽しむことができます！
２３区初！自宅でも楽しめるバーチャル版も同時配信します！

観光アプリで楽しくまちを周遊！

観光アプリに新たな機能と情報を追加し、まちあるきが更に楽しくなります。
スタンプラリーイベントを開催することで、区内の散策や飲食による回遊性を高め、地域経済の活性化を図ります。
また、掲載情報を充実させ、まちあるきをサポートします。

【問合せ先】　産業経済部　観光振興課長　山下　英男　　内線４６０

「あらかわ街なか美術館」の整備

２８０万円

【ＰＲポイント】

○ 彫刻作品１４０点以上を所蔵する「あらかわ街なか美術館」を開館します！

○ 作品に二次元バーコードを整備し、美術館のようにその場で詳しい紹介文が見られます！

○ 荒川区観光アプリで、マイ彫刻めぐりプランが作れます！

・　区では、公共施設等に１４１点の彫刻を設置しており、区内全域を美術館に見立て、「あらかわ街なか美術館」として、文化勲章受章者の作品や、東京藝術大学卒業・修了制作の特に優秀な作品などを展示します。

・　作品に二次元バーコードを整備して、ホームページと連動した作品・作者紹介を行うほか、観光アプリでも、魅力的な作品紹介の充実を図り、荒川区の芸術文化の魅力を強く発信します。

「あらかわ街なか美術館」彫刻紹介二次元バーコードの整備

彫刻作品に二次元バーコードシールを設置。その場で、ホームページに繋がり詳しい紹介文が見られます。

観光アプリ「あらかわさんぽ」彫刻作品の情報を充実

自分だけの彫刻めぐりプランを作成。アートに関心の高い方や観光目的の方に彫刻の魅力をPRします。

＜文化勲章受章者の作品＞

淀井敏夫氏

澄川喜一氏

北村西望氏

荒川区観光アプリ

【問合せ先】　地域文化スポーツ部文化交流推進課長　伊藤　節子　内線２５２０

オリンピック・パラリンピック関連事業

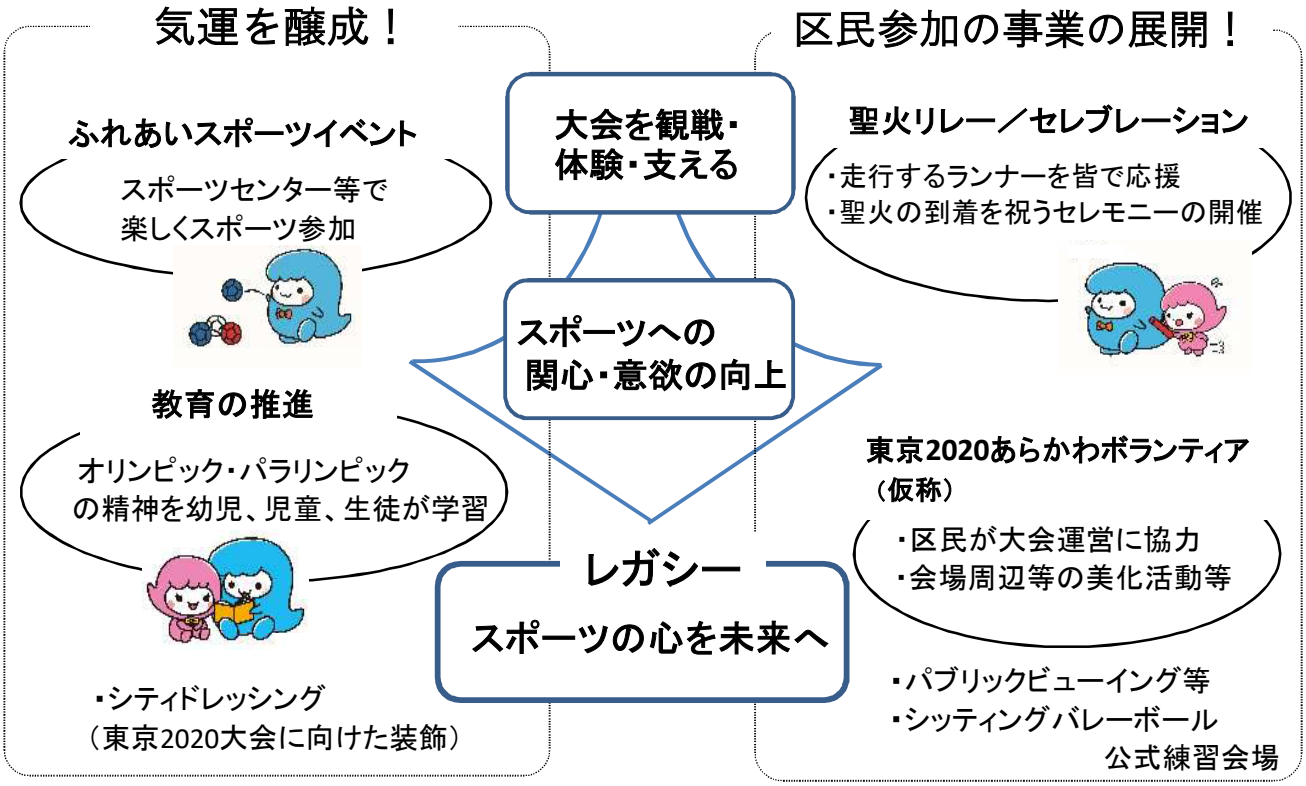
予算額　　７，１４７万円

【ＰＲポイント】

○ 東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を醸成

○ 東京２０２０大会を区民が観戦したり、体験したり、支える事業を展開

世界に復活・復興を示す東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、荒川総合スポーツセンターでのイベントをはじめ、様々な事業を展開することで開催への気運を高めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じることにより、多くの区民が安全・安心に大会に関わりを持てるようにし、大会を通じて、スポーツへの関心や意欲を高め、記憶に残るレガシーとして未来へ引き継いでいきます。



【問合せ先】　地域文化スポーツ部　スポーツ振興課長　泉谷 清文　内線３３７０